



楽しかった
いい作品ができた

木工体験学習プログラム

10月30日の勝山小4年生で木工体験学習プログラムは終わりました。今年は、初めて船津小の4年生も参加しました。

2時間余りの学習では、野鳥の森木工教室にある材料をあれこれ考えながら選び、作品を作り上げていきます。子ども達は道具の使い方が短い時間の中でもどんどん上達していき、それは音でも分かります。玄のうが釘に水平に当たらないための「ガチッ」という音が、徐々に「トン、トン」といい音に変わり、リズムカルになります。のこぎりも、刃がまっすぐでないための「キーッ、キーッ」という音が、「ギーコ、ギーコ」と聞こえてきます。飾りつけはドングリや木の枝などの自然味あふれる物がたくさんあるので、子どもたちは楽しみながら様々な飾り、どれも、個性豊かですばらしい作品が仕上がりました。持ち帰った作品を見た人たちから褒めてもらい、子ども達はとてもうれしかったようです。



このような素晴らしい体験ができるのも、渡辺園長さんや教員OBの先生方（希代修先生、倉沢正徳先生、古屋庄一先生、渡辺正利先生）の丁寧な指導によるものです。本当にありがたいことです。OBの先生方は、体験学習プログラム開始当初から、指導に関わってくださっていて、教員としての経験に加え、生活の知恵による的確なアドバイスと工具の使い方の指導により、子どもたちは苦勞しながらも作り上げていく楽しさを感じながら作品を作ることができています。

町バスに感謝

校外学習だけでなく、工場・施設などの見学、総合的な学習における校外での学習、複数校による交流活動やセンターが行っている体験学習プログラム、さらに中学校の大会遠征など様々なことに利用するバスは、他市町村にはあまり見られない取組です。多くの先生方から「町バス利用により貴重な学習が実施できていて非常にありがたい。」という声が数多く聞かれます。バス利用経費は、町に負担していただいています。

修学旅行、町内全小中学校無事終わる

コロナ禍で実施が危ぶまれていた修学旅行は、河口湖南中（10月12～14日、河口湖北中（10月21～23日）をもって終わりました。保護者の皆様から不安や万全の対策を願う声のある中で、事前指導、宿泊所との交渉など

の事前対応を整え、方面や移動方法の変更等安全対策を講じる中で、有意義な修学旅行が実施されました。それまで学習したことを実際に見聞きし、体で感じる事ができたことと思います。友達と過ごした時間はかけがえのないものになり、多くのことを学ぶことができた修学旅行は、大切な思い出になったでしょう。

保護者、学校教職員の皆様、実施に向けての苦勞、お疲れさまでした。



河口湖北中学校



河口湖南中学校